

お買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。この説明書は、必ず保管してください。

**安全上のご注意**

安全にお使いいただくための注意事項を説明しています。必ずお守りください。なお、有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。

	<b>警告</b>	死亡または重傷を招くおそれがある危険な状況を示します。
	<b>注意</b>	軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害の発生するおそれがある場合を示します。

お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。

- してはいけない
- 必ず守る

**■施工上のご注意**

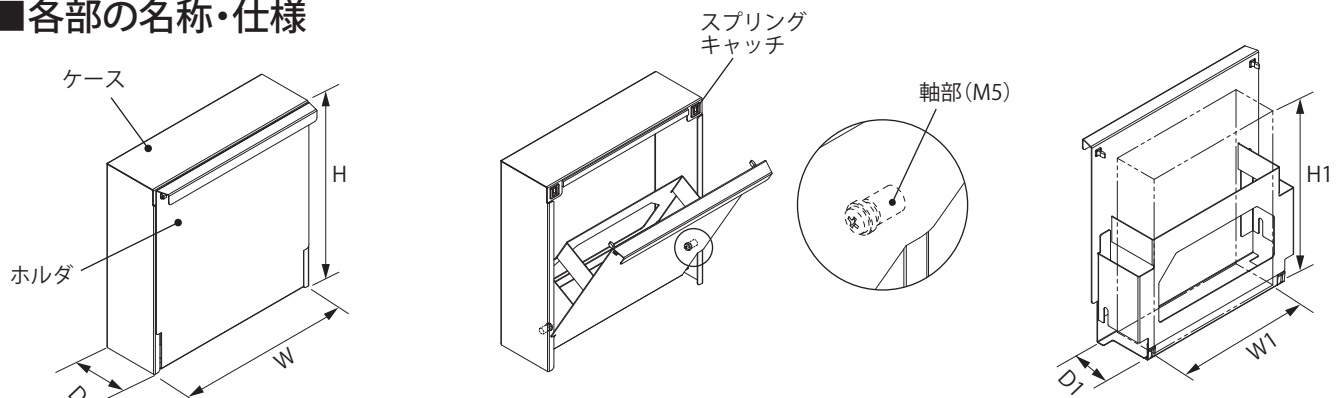
<b>注意</b>								
	本製品に落下などの強い衝撃を与えないでください。ヘコみや歪みが発生し、強度の低下の原因になります。							
	搭載許容サイズ・質量を超える物を入れしないでください。性能の劣化・破損・けがの原因になります。							
	本製品は屋内用です。屋外では使用できません。							
		使用するねじなどは指定されたものを使用してください。取付けの際は、適正締付トルクにて締め付けてください。締付が不十分な場合、破損・落下の原因になります。また、締付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。						
		<table border="1"> <tr> <th>ねじの呼び</th> <th>適正締付トルク N・m</th> </tr> <tr> <td>M5</td> <td>1.0~1.5</td> </tr> <tr> <td>M6</td> <td>2.9~4.4</td> </tr> </table>	ねじの呼び	適正締付トルク N・m	M5	1.0~1.5	M6	2.9~4.4
ねじの呼び	適正締付トルク N・m							
M5	1.0~1.5							
M6	2.9~4.4							

**■使用上のご注意**

<b>警告</b>	
	取付部(ねじ)などの傷みやゆるみがないか、定期的な点検してください。傷みがある場合は交換し、ゆるみがある場合は適正締付トルクにて締め付けてください。破損・落下の原因になります。

<b>注意</b>	
	次のような場所では使用しないでください。故障・誤動作・けがの原因になります。 ・過度な振動、衝撃のある場所 ・塵埃やオイルミストが多い場所
	ホルダを勢いよく閉めないでください。指を挟みけがの原因になります。 <small>指に注意</small>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホルダの開閉角度は約 30°です。ホルダを開けた状態で、搭載許容質量以上の荷重を加えないでください。軸部およびホルダの変形・破損の原因になります。</li> <li>・ホルダが開いた状態で、キャビネットの扉を開閉しないでください。ホルダの破損の原因になります。</li> </ul>

**■各部の名称・仕様**



搭載許容サイズ

品名記号	寸法 mm			セット内容
	W	H	D	
BP85-70S	340	350	130	図面ホルダ 1 コ 付属品一式
BP85-70SC				

材質	鉄
板厚	1.0mm
塗装色	BP85-70S：ライトベージュ (5Y7/1) BP85-70SC：クリーム (2.5Y9/1)
搭載許容サイズ	W1=250mm、H1=310mm、D1=80mm
搭載許容質量	3kg

●付属品

部品名	数量
±3点セムスなべ小ねじ M6×16	4コ

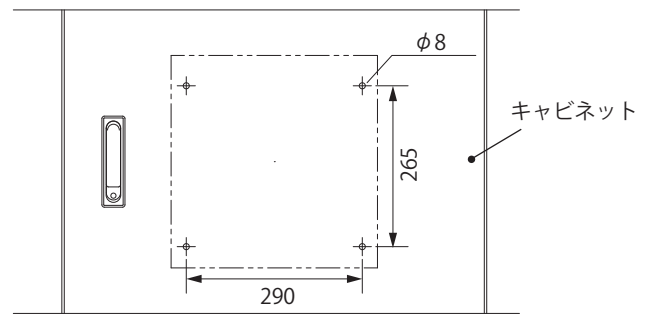
## ■取付方法

(単位：mm)

- ・キャビネットに設置する際は、キャビネット本体に穴加工した後に取り付けてください。

### ご注意

- ・穴加工の際は、ハンドルの可動範囲を考慮してください。



取付穴加工位置

### 【ホルダ外し方】

- ・ホルダを約10°開けた状態でケースから矢印方向に引き抜いてください。(完全に開けた状態では引き抜けません。)(図1)

### 【ケース取付け方】

- ・キャビネットの内側から ±3 点セムスなべ小ねじ M6×16 で 4 か所取付けてください。(図2)

ねじの呼び	適正締付トルク N・m
M6	2.9~4.4

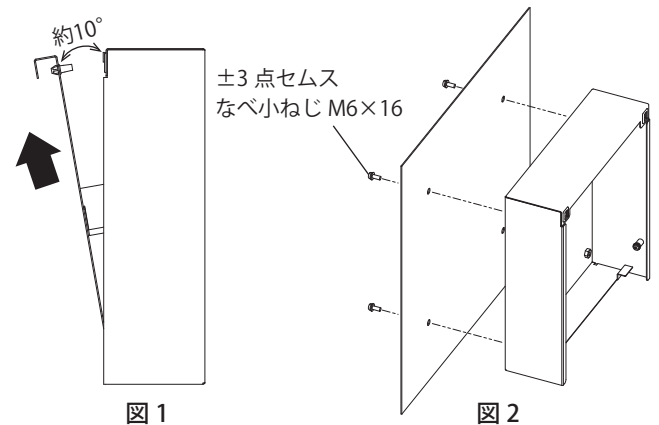


図1

図2

### 【ホルダ取付け方】

1. ホルダを約10°傾けた状態で、U型溝がケースの軸部(M5)に引っ掛かるように取り付けてください。(図3)
2. スプリングキャッチがかかるようにしっかりと閉めてください。(図4)

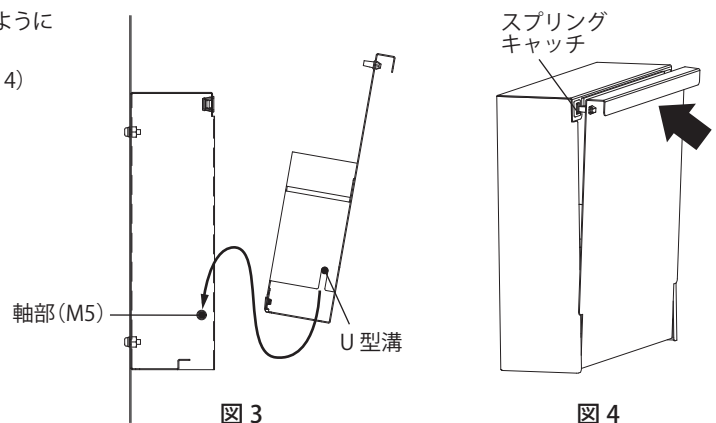


図3

図4

### ご注意

- ・ホルダを取り外す際は、ホルダ内の荷物を全て取り出してからホルダを外してください。ホルダの変形につながります。
- ・ホルダを閉める際はスプリングキャッチが閉まるまで押し込んでください。

### お問い合わせ先

ご不明な点がございましたら弊社お客様相談室にお問合わせください。

**TEL (0561) 64-0152**

施工業者名	
TEL	
施工年月日	年 月 日

本製品の故障や瑕疵により、当社の予見の有無を問わず生じた二次損害について、当社は一切の責任を負いかねます。仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。

2021年9月  
C467114911

**NITTO KOGYO**

©NITTO KOGYO CORPORATION

日東工業株式会社  
〒480-1189 愛知県長久手市蟹原2201番地